

超重量品輸送の世界

物流博物館では、昭和20年代～50年代の物流に関する映画フィルムを収蔵していますが、これまでに約100本に及ぶ記録映像のデジタル化を完了しました。色彩や傷等を修復し、新たに甦った過去の映像をぜひご覧ください。



「超重量に挑む-500トントレーラとシキ611」より



「灼熱の大地で一日通 IJPC の記録」より



「アラビアの水-超大型トランスポーターの誕生-」より

2017年 **9月10日(日)**

第1回：10時30分～12時00分
第2回：13時00分～14時30分
第3回：15時00分～16時30分

※下記作品を1日3回上映します。予約は不要です。 ※参加費は無料ですが、別途入館料が必要です。

＜上映作品＞ ※すべてデジタルリマスター版による上映です。

①「超重量に挑む-500トントレーラとシキ611」

1971年／カラー／21分／製作：電通・電通映画社／企画：日本通運(株)
製作：武井雅敏／脚本・演出：京極高英／撮影：加藤和郎／作曲：深沢康雄
内容：重電機器類の大型化にともない、1971年に新たに開発された500トントレーラと、重量品専用貨車シキ611による大型変圧器輸送のようすを描く。

②「灼熱の大地で一日通 IJPC の記録」

1979年／カラー／30分／製作：鹿島映画／企画：日本通運(株)
製作：石田昭夫／脚本・演出：港健二郎／撮影：村山利夫
内容：日本企業が進めていたイランでの石油化学プロジェクト・IJPC（イラン・ジャパン石油化学）。そのプラント建設における重機建設作業とそこで働く人びとの記録。

③「アラビアの水-超大型トランスポーターの誕生-」

1981年／カラー／22分／製作：電通／企画：日本通運(株)
製作：稲村嘉一／脚本・演出：武井義尚／撮影：杉浦勉
内容：当時新たに開発された重量品輸送用の超大型トランスポーターを紹介した作品。サウジアラビアの海水淡水化プラント建設における活躍を描く。

増大した重量品輸送需要に対応すべく開発された、超重量品輸送用トレーラ、ドーリー、トランスポーターなどの活躍を記録した作品を上映します。

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
【休館日】毎週月曜日・毎月第4火曜日(これが祝日・振替休日の場合開館)、祝日の翌日、年末年始、展示替等期間
【入館料】高校生以上200円／65歳以上100円／中学生以下無料
*団体20名以上半額

物流博物館
MUSEUM OF LOGISTICS

〒108-0074 東京都港区高輪4-7-15
TEL 03(3280)1616
http://www.lmuse.or.jp

